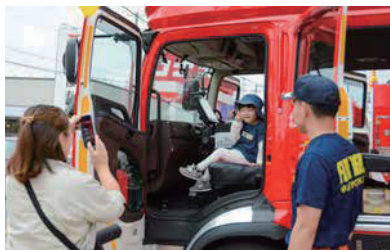




9/25 感動をありがとう！ 高橋和生パリ五輪選手が凱旋訪問

当市出身で、パリ五輪競歩代表として新種目の男女混合リレーで健闘した高橋和生選手が、市庁舎を訪れました。高橋選手は総合13位という結果に「悔しい思いだが全力を尽くした。また同じ舞台に立ちたい」と話し、多くの応援に感謝していました。高橋選手は10月に佐賀県で開催された国民スポーツ大会で岩手県選手団の主将を務め、来年に東京で開催される世界陸上を大きな目標として見据えています。



10/6 消防士の仕事に理解を深める 北上消防署庁舎開放デー

北上消防署庁舎開放デー（北上地区消防組合消防本部主催）は、北上消防署で開催され、親子連れなど約2,000人の来場者でにぎわいました。同組合発足50周年記念事業の一環として、消防を身近に感じてもらう防火意識を高めるため、さまざまな体験や展示を実施しました。消防車に乗車した松川湊君（双葉幼稚園）は「楽しかった。カッコいい」と満面の笑みを浮かべていました。

9/24 全国の舞台で音色を響かせて 黒北小合唱部と上中吹奏楽部が全国へ

全国大会への出場を決めた黒沢尻北小合唱部と上野中吹奏楽部は、市庁舎を訪れ、八重樫市長と船田教育長に報告しました。黒沢尻北小6年の鈴木紅葉部長、小田島理沙副部长、巖谷心緒副部长の3人は、力強く抱負を発表。上野中3年の久保大珠部長、渡辺陽向副部长、石山優杏副部长の3人も堂々と意気込みを語りました。両校とも活動支援への感謝を述べ、全国でのよりよい演奏を誓いました。



10/5 復刻カラーの「キハ100系」がお目見え 「快速きたかみ」特別列車が運行

JR東日本盛岡支社とJR東日本びゅうツーリズム＆セールスは、復刻カラーの「快速きたかみ」撮影専用特別列車で行く第二和賀川橋梁撮影の旅を催行しました。北上線全線開通100周年を記念した企画で、キハ100系デビュー当時の車両カラーを復刻し、北上駅とほととぎす駅間を1往復。往路途中では、撮影スポットとして有名な第二和賀川橋梁で線路内に降り立ち車両を撮影する、貴重な時間が設けられました。



まちの話題

市内の話題を紹介



9/22 雨模様でも屋内でにぎわう 第48回えびりこ古墳まつり

第48回えびりこ古墳まつりは、雨天のため会場を江釣子地区交流センターに変更して行われました。例年通り先人をしのぶ供養式典から開始。芸能公演などのステージのほか、射的や綿あめコーナーなどの屋台が並び、来場者であふれました。江釣子音頭を披露した小原カツさん（81歳・滑田）は「みんなで盛り上げることができまし、踊って元気が出た」と、はつらつとした表情を見せました。

9/15 憧れの仕事を楽しく体験 鬼っジョブ2024

鬼っジョブ～北上おしごとパーク～2024は、さくらホールfeat. ツガワで開催されました。今年で10回目となる同イベントには、当市と西和賀町の小学4～6年生の238人が参加。警察官やトリマーなど約30種類から希望の職業を選んで体験しました。臨床工学技士に挑戦した中崎海仁君（黒沢尻小5年）は「いろいろな機械やボタンがあるのに、全て覚えているなんてすごい」と目を輝かせていました。



9/22 会場が熱気に満ちる 第12回虹色フェスタ

第12回虹色フェスタ2024は、いわさき小学校体育館で実施されました。和賀東中学校吹奏楽部の演奏を皮切りに、子ども鬼剣舞3団体の紹介、専大北上高校郷土芸能部や煤孫ひな子剣舞などの演舞が次々と披露されました。心ときめきチキンレースには子どもたち20人が挑戦。優勝した荒川楓君（和賀東小5年）は「優勝できてうれしい」と声を弾ませました。



9/24 海外の人々を魅了 南米で本場の鬼剣舞を披露

岩崎鬼剣舞保存会の斉藤和人さん（31歳）と八重樫正義さん（69歳）は、市庁舎を訪れ、南米郷土芸能使節団の一員として鬼剣舞を披露したことを八重樫市長に報告しました。斉藤さんは鬼剣舞を代表し、8月17日から28日にかけて、連増知事や関係者らと共に南米の各岩手県人会を訪問。パラグアイ、ブラジルの2カ国5カ所で行った加護を披露し、地元の人々を魅了しました。